

科目名	スポーツ実技Ⅱ				英文表記	Physical Education Ⅱ				平成23年4月	
科目コード	4017										
教員名：末吉つねみ 技術職員名：										作成	
対象学科／専攻コース					学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科					4年	選	履修	1単位	演習	後期	
目標及び評価方法	目標項目					評価方法及びその割合					
	生涯スポーツの実践方法、基本的技術を習得する。生涯にわたり自発的にスポーツを実践し、継続して身体活動を行う習慣を身につける。					各種目のスキルテスト（60%）各種目に対する意欲・興味・関心について毎時間の振り返りカードの記入（15%）観察評価（10%）					
	チーム戦術研究、作戦の立案と反省を通して、コミュニケーション能力と自己学習能力を身につける。					各種目のグループ学習への取り組み状況（学習カードによる評価）（15%）					
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学	
		○		◎	JABEEプログラム教育目標		C-4	C-1	C-4	C-2	
授業概要、方針、履修上の注意	<p>【授業概要と方針】 各スポーツのルールやマナー、安全対策について学習する。 各スポーツ種目の学習はグループ学習を基本とする。球技ではチーム戦術研究、作戦の立案を反省を通してコミュニケーション能力と自己学習能力を身につける。</p> <p>【履修上の注意】 ・実技では半袖シャツと短パン（ハーフパンツ可）を着用すること。 ・アクセサリや腕時計等は安全のため外すこと。 ・やむを得ない事情によって見学を希望する場合は、授業開始前に見学届を提出すること。</p>										
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> 各スポーツの基本ルールと技術についてのプリント（教員自作） 作戦および自己評価カード（教員自作） 参考：「アクティブスポーツ」（大修館書店） 										
授 業 計 画											
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容						予 習 項 目		
1	授業ガイダンス・テニス	2	授業の進め方の説明。基本技術（フォア・バックハンドストローク、サービス）を身につける。基本ルールを理解する。								
2	テニス	2	基本技術（フォア・バックハンドストローク、サービス）を身につける。基本ルールを理解する。								
3	テニス	2	スキルテストを行う。基本技術（ボレー）を身につける。基本ルールを理解し、審判ができるようにする。								
4	テニス	2	スキルテストを行う。ダブルスのフォーメーションについて学習する。試合を通して実践能力を身につける。								
5	テニス	2	スキルテストを行う。ダブルスのフォーメーションについて学習する。試合を通して実践能力を身につける。								
6	バスケットボール	2	シュートの技術を習得する。								
7	バスケットボール	2	シュートの技術を習得する。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。								
8	バスケットボール	2	スキルテストを行う。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。								
9	バスケットボール	2	スキルテストを行う。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。								
10	バスケットボール	2	スキルテストを行う。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。								
11	アルティメット	2	基本技術（スローイング、キャッチング）を習得する。								
12	アルティメット	2	基本技術（スローイング、キャッチング）を習得する。								
13	アルティメット	2	基本技術（スローイング、キャッチング）を習得する。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。								
14	アルティメット	2	スキルテストを行う。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。								
15	アルティメット	2	スキルテストを行う。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。								
期末	期末試験										
学習時間合計			30	実時間				25			
<p>学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 記入不要→この科目は履修形態のため、この欄の記入は不要</p>											

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）